

県内二番目の「歴史都市」に認定 城下町大聖寺をめぐる！

【行程】

小坂公民館⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒菅生石部神社(加賀国二ノ宮)⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒実性院⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒(徒歩)⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒全昌寺⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒〈昼食・加賀料理ばん亭〉⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒江沼神社長流亭(重要文化財)⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒鷹金づくりの洞窟⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒小坂公民館



〈棒梅鉢〉

「大聖寺の歴史」

「大聖寺」の地名は、平安時代から室町時代にかけて、江沼郡の人々の中に白山信仰が盛んに行われ、その中心となった5つのお寺(白山五院)の中に「大聖寺」というお寺があったことに由来する。「大聖寺」は錦城山(標高約67m)にあったと伝えられているが、現在は「大聖寺」というお寺は存在していない。

天正3年(1575)⇒織田軍が越前で一向一揆を打倒し、加賀に侵攻して江沼・能美2郡を占領した際、従来の城を拡張して大聖寺城が築かれた。

慶長3年(1598)⇒小早川秀秋の家臣、山口宗永が大聖寺城に入る。

慶長5年(1600)⇒山口宗永は、加賀藩2代藩主前田利長との合戦で大聖寺城にて戦死する。

元和元年(1615)⇒大聖寺城は、一国一城令により廃城となった。

寛永16年(1639)⇒加賀藩3代藩主利常の隠居にともない、三男利治に7万石を与え加賀藩支藩として大聖寺藩が成立する。

【菅生石部神社】

鎌倉時代には加賀国二宮の地位を得ている神社で、加賀国福田庄が北野天満宮領となったことから北野天神を勧請している。

毎年2月10日の「竹割まつり」は県無形民俗文化財に指定されている。



【山ノ下寺院群】

藩主の菩提寺であった実性院、芭蕉ゆかりの全昌寺や大聖寺地区の鎮守である加賀神明宮など7寺院1神社が連なる寺院群で、城下の整備に伴い意図的に寺院を集めたとされている。



【江沼神社長流亭】

江沼神社は、宝永元年(1704)3代藩主前田利直によって藩邸内に菅原道真の霊をまつる社が造られたのが始まりとされる。

また、長流亭は、藩邸敷地に唯一残る藩政期の建造物で、宝永6年(1709)に藩主の休息所として造られた。

設計は小堀遠州とも伝えられており、国の重要文化財に指定されている。



大聖寺藩

〔旧国〕 加賀郡
〔居城〕 大聖寺陣屋
〔主な藩主家〕 前田氏
〔大名の種別〕 外様
〔石高〕 10万石
〔藩の推定人員〕 4万9000人
(明治元年)
〔江戸城控間〕 大広間
〔格〕 城主
〔官位〕 従四位下

加賀藩
第3代藩主 利常

側室
長連龍
の娘

7万石

初代藩主
利治
(としはる)

2代 利明
(としあき)

3代 利直
(としなお)

- 万治3年(1660) 江沼郡全域と能美郡6カ村が領域として確定する。
- 灌漑を整備し新田開発をするなど藩政を固めた。

加賀藩5代藩主
綱紀の子を養子

4代 利章
(としあきら)

5代 利道
(としみち)

- 元禄5年(1692)
弟の利昌に一万石を与え 大聖寺新田藩(しんでんはん) を立藩させる。
- 宝永6年(1709)
利昌は、5代将軍徳川綱吉の葬儀が寛永寺で執り行われた際、大和柳本藩(やまとやなぎもとはん)織田秀親を殺害した罪で切腹し、大聖寺新田藩は廃藩となる。

6代 利精
(としあき)

7代 利物
(としたね)

利幹
(としもと)

(富山藩9代藩主)

10万石

8代 利考
(としやす)

9代 利之
(としこれ)

文政4年(1821)、新田開発の増収分1万石と加賀藩の援助2万石で 10万石に高直した。
ただし、格式を維持するため、財政はひっ迫していた。

10代 利極
(としなか)

11代 利平
(としひろ)

加賀藩13代藩主
斉泰(なりやす)の子を養子

加賀藩13代藩主
斉泰の長男

12代 利義
(としのり)

13代 利行
(としみち)

14代 利鬯
(としか)

兄弟

加賀藩14代藩主
慶寧(よしやす)

大聖寺城の戦いと浅井躰の戦い

〈前田利長と丹羽長重の関係〉

- ・正室はともに信長の娘で、義兄弟でありながら極めて不仲であった。
利長⇒永姫(玉泉院)、長重⇒報恩院
- ・利長は80万石の大大名で、長重は小松・松任12万石である。
- 慶長4年(1599)利家が没すると、家康は「利長の謀反」に対処するため、長重に利長の監視役を密かに命じる。(※まっは謀反の疑いを解くため人質として江戸へ)
- 利長は、家康から「上杉討伐に北陸諸大名を率いて参戦するよう。」に命じられたため、長重に参戦を呼び掛けるが、利長が家康側につくなら自分は敵に回ろうと拒否し西軍へ着いた。

結果

加賀藩
120万石の
大大名

前田利長

関ヶ原の合戦
慶長5年
1600年
9月15日

① 7月26日、利長は加賀南部や越前を制圧すべく2万5000の大軍で出陣

小松城 丹羽長重
(3000の兵)

⑦ 9月11日、再出陣するが、長重は家康の元に使者を送り和睦を申し立て、双方の弟(利常)を人質とする。

② 大聖寺城の戦い 8月3日
城は落城し山口宗永親子は自刃する。(2000の兵)

⑥ 利長軍は、一旦金沢へ撤退する。

ほとんど西軍の大名

③ 利長は更に南下するも…

⑤ 浅井躰の戦い 8月9日
殿(しんがり)の長連龍と丹羽長重の一隊が交戦する。利長軍が反転して援軍を送るが決着が付かず双方痛み分けとなる。

8月3日、大谷吉継は越前敦賀へ入る。(6000の兵)

④ 大谷吉継率いる4万の軍勢が金沢に攻め込むという情報が入り、突如金沢へ引き返す。(諸説あり)